

生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる

文化財の保存・伝承と活用

- 「文化財保存活用大綱（仮称）」を策定し、文化財の保存・活用の方向性を明確化します。また、市町等における計画の策定を支援します。
- 文化財の活用促進のため、美装化や環境整備のための経費を補助します。
- 府立高校生や歴史学科・建築学科等の大学生を対象に、文化財の保存や修理、職人の仕事に興味をもってもらうよう、建造物修理現場の見学や職人体験事業等を実施します。
- 京都府内に多数存在する貴重な文化財の保護のため、府独自・全国初の「暫定登録文化財」制度により、緊急の保護対策を講じます。



すべての教育の出発点である家庭教育を支援する

家庭教育の支援

- 家庭教育はすべての教育の出発点であり、保護者が自信を持ち安心して子どもの教育に関われるよう、福祉関係機関や地域社会等と連携し、家庭教育を支援します。
- 「家庭教育アドバイザー」を配置し、家庭教育に悩みや不安を抱える家庭への訪問など、アウトリーチ型の支援を実施します。



地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる

地域社会の教育力向上

- 京のまなび教室や地域未来塾など地域の方の協力を得て、放課後等の体験活動や学習活動の充実を図ります。
- コミュニティ・スクール（学校運営協議会）や地域学校協働活動など、地域全体で子どもの学びや成長を支え、地域の活性化を図る取組を推進します。



京都府教育委員会

平成 31 年 4 月発行 京都府教育庁管理部総務企画課
TEL 075-414-5710 URL <http://www.kyoto-be.ne.jp/>

平成 31 年度

京都府の教育施策

～つながり、創る、京の知恵～

京都府教育委員会では、新学習指導要領に対応するとともに、「京都府教育振興プラン」に基づき、歴史と伝統にはぐくまれたふるさと京都が持つ様々な力を活かし、学校や地域の実情に応じた「京都府ならではの教育」を進めています。

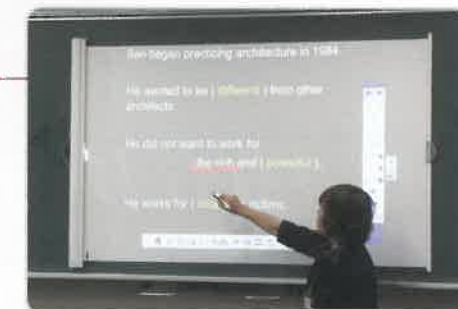
質の高い学力をはぐくむ

幼児教育

- 「幼児教育アドバイザー」の配置により、幼児教育の質の向上と、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続の実現を目指します。

学力の向上と新しい時代の学び

- 2022 年度までを目途に、府立高校の全普通教室に ICT 環境を整備し、ICTを活用した新しい時代の学びを推進します。
- 認知能力と非認知能力を一体的にはぐくむ実践的研究として、中学校ブロック内の幼・小・中が連携して取り組む事業や、企業等が出題する課題に対し、長期的・継続的に取り組む「課題解決型学習」の研究指定事業を実施します。
 - ※【認知能力】知識の量や技能の習熟度など学力テスト・検査等により「数値で示すことが可能とされる力」
 - ※【非認知能力】コミュニケーション能力や自尊心、社会性など「数値で示すことが困難とされる力」
- 小学校4・5年生では個別補充学習を、中学校1年生では振り返り集中学習を実施し、学習のつまずきの早期解消を図ります。中学生2年生対象の学力アップ集中講座では、基礎・基本の徹底や発展学習に取り組めます。



大学との連携

- 多くの大学が集まっている京都の強みを活かし、大学の出前授業や体験授業、大学と連携した府立高校生の探究活動など、子どもたちの知的好奇心をはぐくむ取組を推進します。

社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ

グローバル人材の育成

- 夢に向かってチャレンジする高校生の海外留学支援などを通じて、国際社会で活躍できるグローバルな人材を育成します。
- 訪日した外国人に府立高校生が英語で観光ガイドを務めたり、学校に訪問した外国の高校生等と伝統文化の共同体験を行うなど、「おもてなし文化交流」に取り組めます。
- 聞く力や話す力など、英語によるコミュニケーション能力をはぐくみます。
 - ◆小学校に英語教育推進教員を配置
 - ◆中学2年生を対象に英語4技能テストを実施
 - ◆高校1・2年生を対象に英語4技能テストの受検料を一部補助



安心・安全で充実した教育の環境を整備する

不登校の子どもへの支援

- 平成 30 年度に策定した「社会的自立に向けた不登校児童生徒支援計画」に基づき、増加傾向にある不登校の対策を総合的に推進します。
- ◆市町村が設置する教育支援センターにスクールカウンセラー等の専門家を配置し、不登校児童生徒支援の拠点として、機能強化を図ります。
- ◆学校にスクールカウンセラーを配置・派遣するとともに、心の居場所サポーターを配置し、相談体制や学習支援体制の充実を図ります。

府立学校施設整備

- ブロック塀の倒壊防止等の安全対策や、避難所としての役割も果たす学校施設の防災機能の強化（トイレの洋式化等）を推進します。
- 学校施設をより長く安全に利用し、トータルコストの縮減等を実現するため、予防保全型の改修による施設の長寿命化を図ります。

子どもの未来を守る

- 学校にまなび・生活アドバイザー（スクールソーシャルワーカー）を配置・派遣し、福祉関係機関等との連携により相談体制や家庭への支援体制の充実を図ります。
- 「いじめ未然防止・早期解消支援チーム」を学校に派遣し、学校の対応状況の点検や、早期解消に向けた支援を行います。
- 様々な悩みを抱える子どもが相談しやすいよう、SNS を活用した相談体制の構築に向けた調査研究に取り組みます。

高校生の修学支援

- 高校生などに対する就・修学支援制度の充実により、家庭の経済的な理由で子どもの学習機会が損なわれることのないように支援します。
- 多額の通学費を負担する高校生の保護者に対する補助制度を拡充します。

学校の教育力の向上を図る

教職員の働き方改革

- 「英語教育推進教員」「スクール・サポート・スタッフ」などの専門スタッフの配置、「部活動指導員」等の配置や部活動指導の適正化、学校・家庭・地域との役割分担の明確化と連携・協働など、教員の働き方改革を総合的に実行し、教員がはつらつ、颯爽とした様子で教壇に立ち、質の高い教育を実践できる環境を整えます。

教員の資質能力の向上

- 「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」を踏まえ、平成 30 年度に策定した「教員の資質能力向上プラン」に基づき、次の施策を実施します。
- ◆Web配信により、教員が勤務校等に居ながら研修を受講でき、育児休業中の教員も自宅で研修を受講できるシステムを整備します。
- ◆先進的な教育制度や施策を視察する海外派遣研修を実施し、グローバルな視点を持つスペシャリストとしての教員を育成します。
- ◆地元京都の大学や企業と連携し、最新の教育情報や人材育成のノウハウを生かした研修を実施します。

たくましく健やかな身体をはぐくむ

京都市「部活動サポート」

- 中学校や高校の部活動に外部人材を配置することにより、競技力の向上や教員の負担軽減を図ります。



一人一人を大切に、個性や能力を最大限に伸ばす

特別支援教育の充実

- 清掃・接客・パソコン実務・介護の分野の「京しごと技能検定」を実施し、特別支援学校生徒の就労意欲や企業就労率の向上を図ります。
- 「京都府スーパーサポートセンター（SSC）」を拠点に、専門的な研修・研究・教育相談を行い、就学前から卒業後に至るまでの一貫した特別支援教育を推進します。
- 特別支援学校の ICT 環境を整備し、社会的自立や企業就労につながる ICT 活用能力をはぐくみます。
- 地域と一体となって共生社会の実現を担う「地域とともに歩む学校」のモデルとなる特別支援学校を井手町に新設するとともに、教育と福祉の総合的な連携による切れ目ない支援の充実を目指し、向日が丘支援学校の改築整備を進めます。



夢に応えられる府立高校づくり

- 府立高校 47 校の特色化を進め、生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばす教育活動を展開します。
- ◆スーパーサイエンスネットワーク京都
独創的な科学研究により世界をリードできる人材を育成
- ◆スペシャリストネットワーク京都
社会・経済構造の変化に対応する真の職業人（スペシャリスト）を育成
- ◆グローバルネットワーク京都
グローバルな視点を持ち、国際社会に発信できる人材を育成
- ◆京都フロンティア校
学校の特色に応じたテーマのもと、生徒が取り組む探究活動を支援
「地域創生推進校」では、地域に愛着を持ち地域に貢献できる人材を育成
- 工業高校及び峰山高校の職業系専門学科において、地元企業や研究機関と連携して、即戦力となる地域のものづくり産業の担い手を育成します。
- 丹後地域において、自分のペースで「自立性・主体性」を身につけることができる京都フレックス学園構想に基づく新しいスタイルの高校を新設するとともに、地域に学校を残し、学校、生徒、地域をつなぐ「学舎」【宮津高校・加悦谷高校】【網野高校・久美浜高校】をスタートさせます。（2020 年度開校）



母校応援ふるさと事業

- ふるさと納税制度を活用し、教育活動の充実や部活動の環境整備など、府立学校独自の様々な取組を実施します。

京のアスリート育成・強化

- 2020 東京オリンピック・パラリンピックを間近に控え、京都ゆかりの全国クラス・世界クラスの選手を輩出するため、競技力強化に向けた支援を行います。



人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ

伝統文化の学習や体験

- 小・中学校において、地域の伝統文化や古典に関する体験活動などを実施します。
- すべての府立高校で京都にゆかりの深い茶道や華道、古典などを通じた伝統文化の学習を実施します。「伝統文化推進校」では、地域文化のフィールドワークや和装の着付けなども行います。

